

2018年3月期 第2四半期

ソログループ  
決算説明会

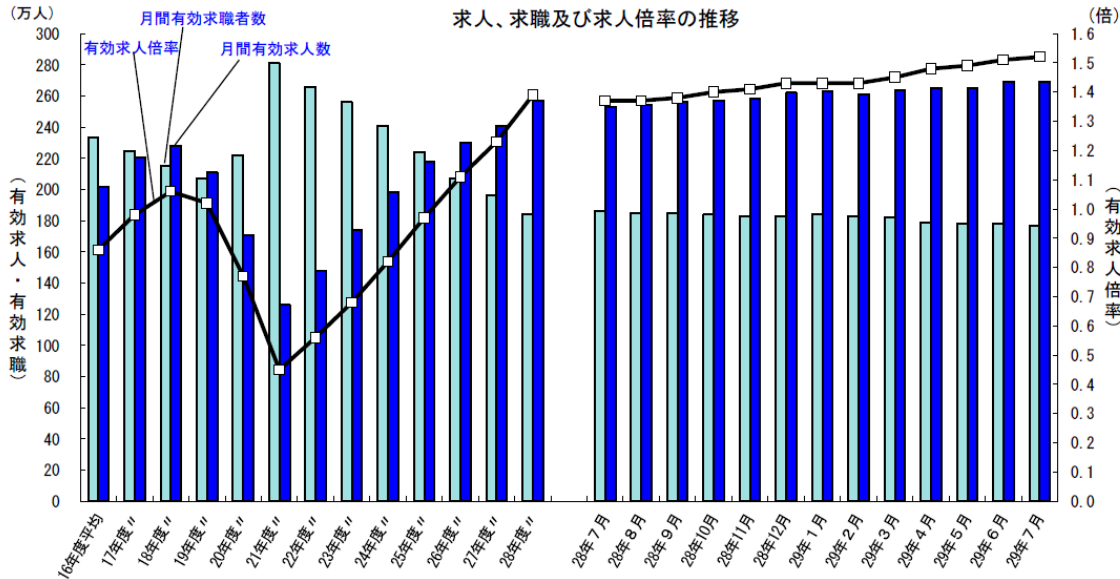
2017年11月21日

# 連結業績概要

**18期**連續 增收

**9期**連續 最高益更新

## 求人、求職及び求人倍率の推移(平成29年7月)



(注) 1. 月別の数値は季節調整値である。なお、平成28年12月以前の数値は、平成29年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。  
 2. 文中の正社員有効求人倍率は正社員の月間有効求職者をパートタイムを除く常用の月間有効求職者数で除して算出しているが、パートタイムを除く常用の有効求職者には派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。  
 3. 文中の産業分類は、平成25年10月改定の「日本標準産業分類」に基づくもの。

(出典) 厚生労働省 一般職業紹介状況(平成29年7月分)

# 有効求人倍率 43年ぶりの高水準



# 福利厚生関連ニーズ増



# 増収増益継続

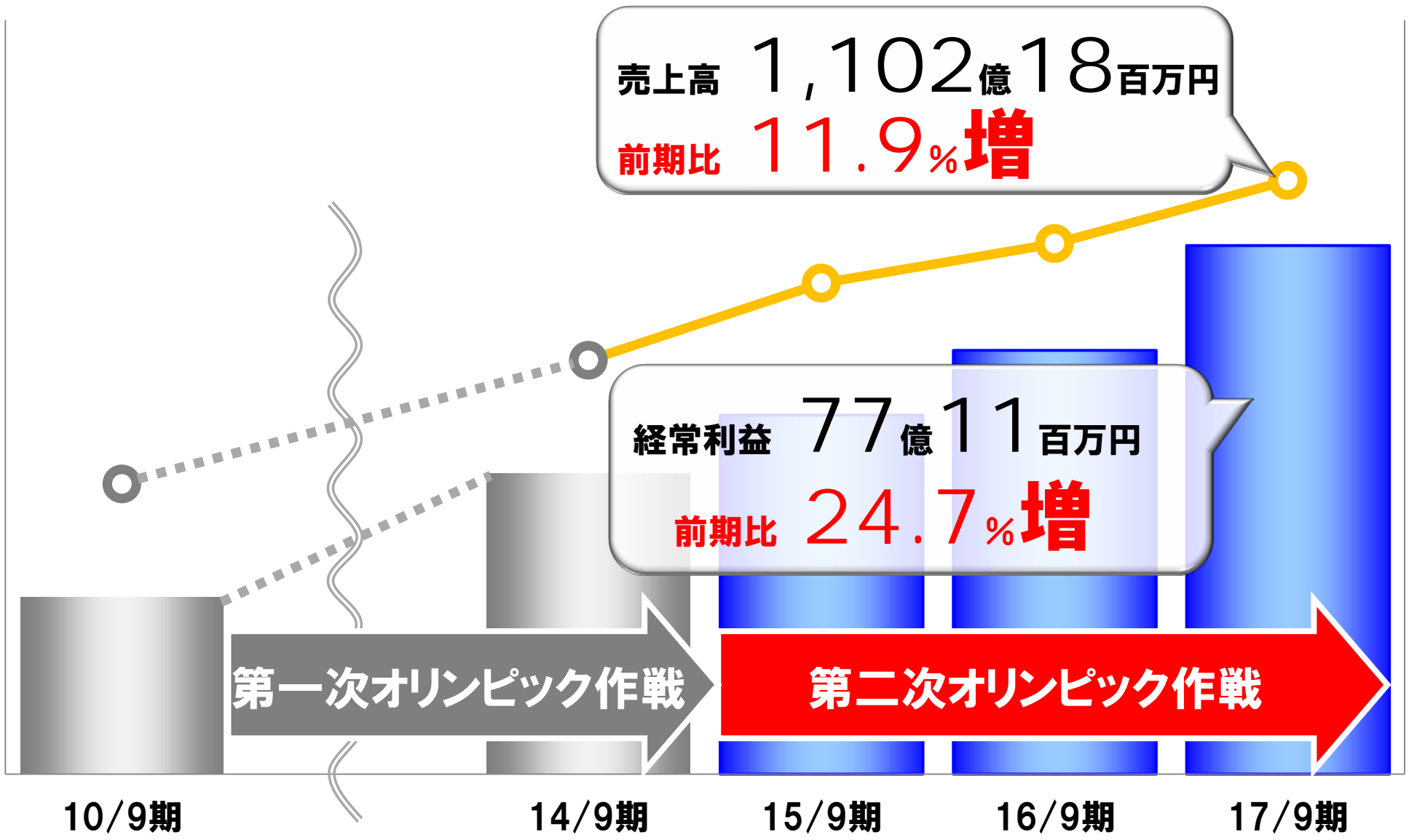
# 連結業績概要

(百万円未満切捨)

	17/9期 実績	16/9期 実績	前期比
売上高	110,218	98,499	+ 11.9%
営業利益	7,188	5,891	+ 22.0%
経常利益	7,711	6,182	+ 24.7%
当期純利益	5,070	4,238	+ 19.6%
EPS(円)※	33.81	28.67	+ 17.9%

※株式分割考慮後

# 連結業績推移

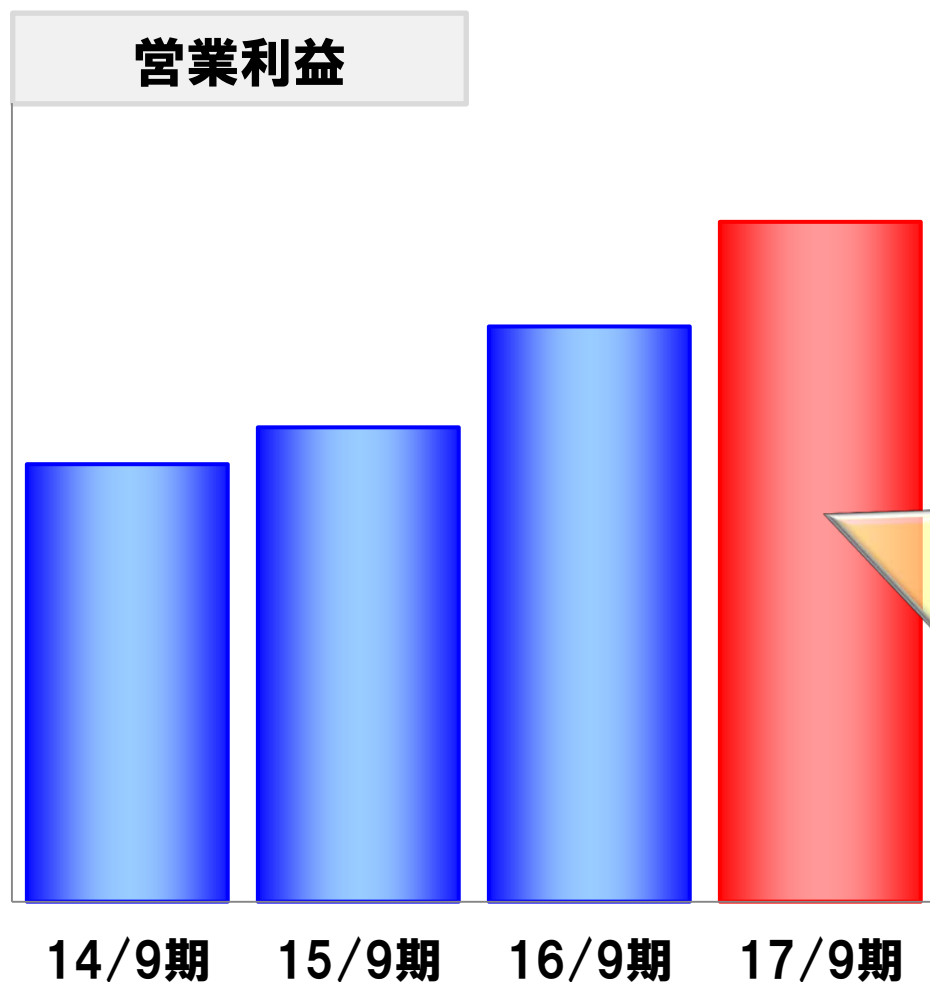


**セグメント別業績**

**国内事業**

**国内事業**

# 国内事業 業績



売上高

898億30百万円

前期比 **12.5%増**

営業利益

59億58百万円

前期比 **18.2%増**

# 国内事業

国内  
リロケー  
ション  
事業

借上社宅管理事業



賃貸管理事業

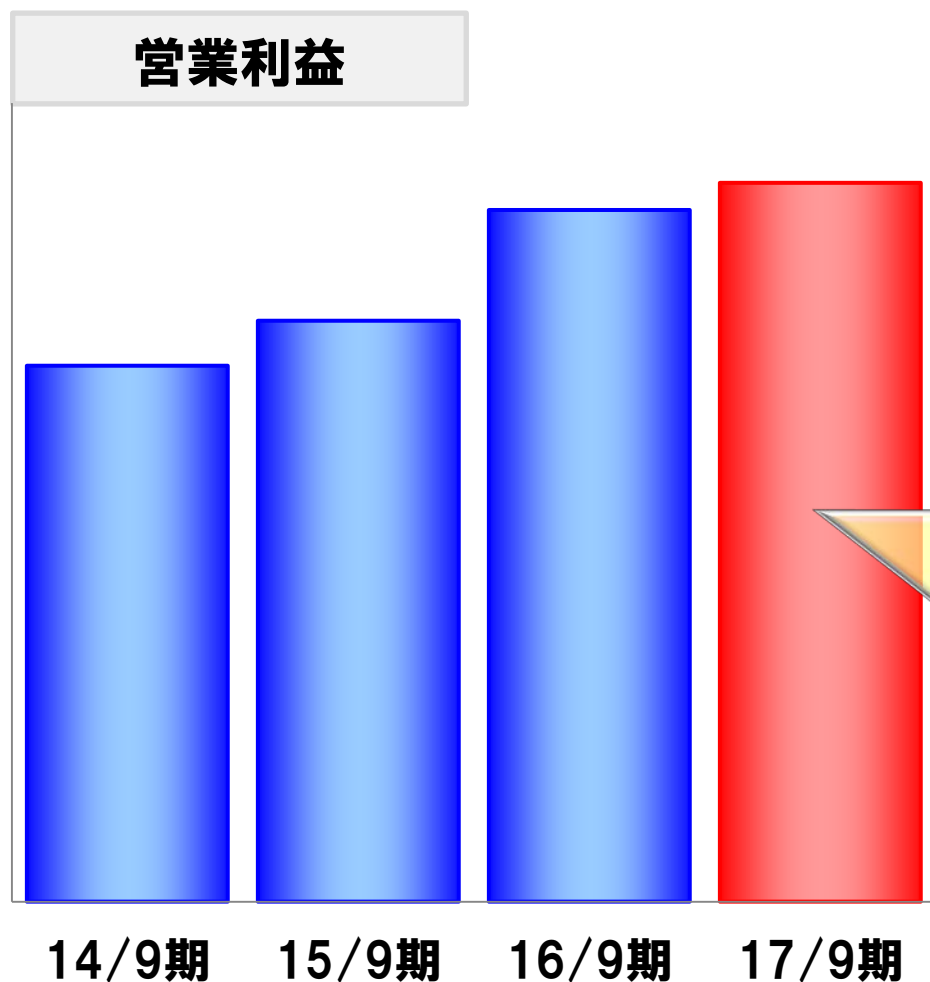


福利厚生  
事業

福利厚生事業



# 国内リロケーション事業(社宅+賃貸)



## 売上高

795億54百万円

前期比 **11.5%増**

## 営業利益

27億00百万円

前期比 **3.9%増**

# 借上社宅管理事業

借上社宅管理戸数



業務負担軽減効果が高い  
転賃が高評価



大手から中堅まで  
順調な営業活動を展開

ダントツNo.1を目指し  
2つの施策を優先

## 1 新規獲得の推進

事業の譲受



業務負担増加による  
利益率の低下

**システム再構築で適正な水準に転換**

**転貸へのアップグレードを狙う**

## 2 システム投資の推進

リネット  
ユーザビリティ向上

業務効率化

**システム再構築を前倒して進行**

先行投資による **費用増加見込**

# 借上社宅管理事業

## 福利厚生事業の成功モデルを横展開

**システム投資**

**リネットユーザビリティ向上**

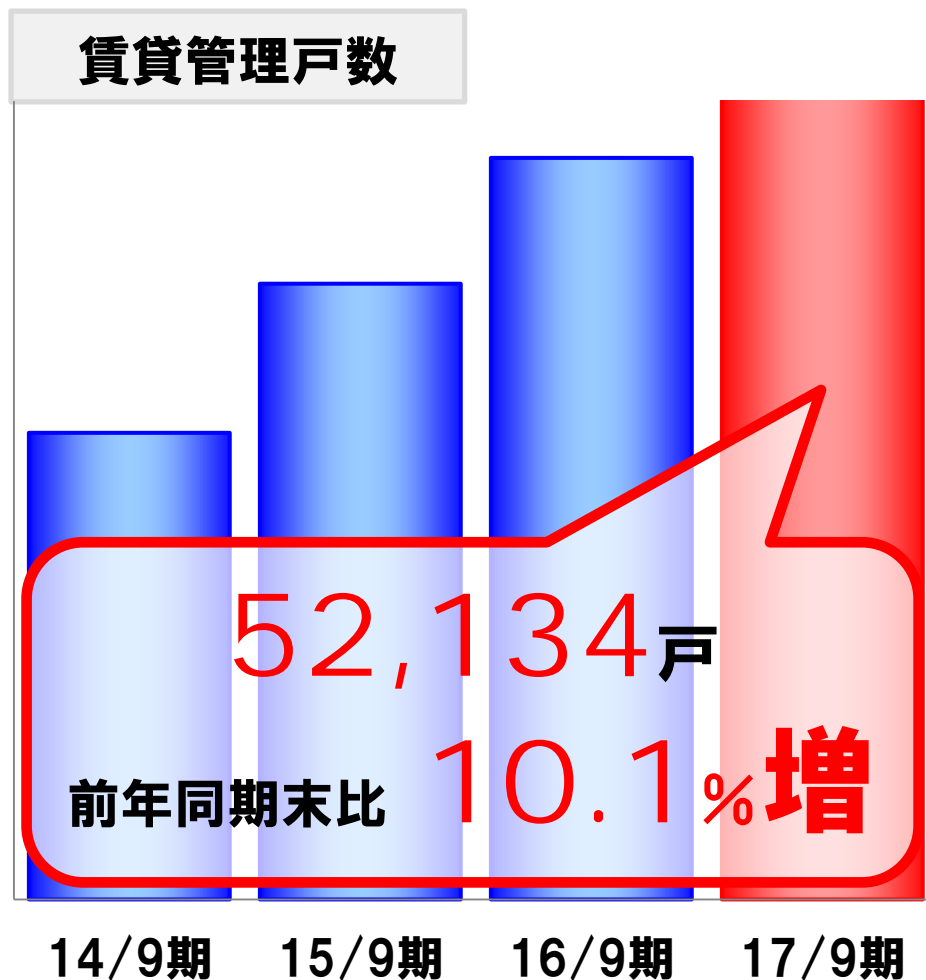
**業務効率化**

**コミッション収入増加**

**利益率向上**

**利益増大**

# 貸貸管理事業



既存グループ会社の成長  
+  
「全国7ブロック展開」



収益基盤拡大

# 賃貸管理事業

## 上期 2社がグループ入り

● ~17/3期 グループイン入り会社

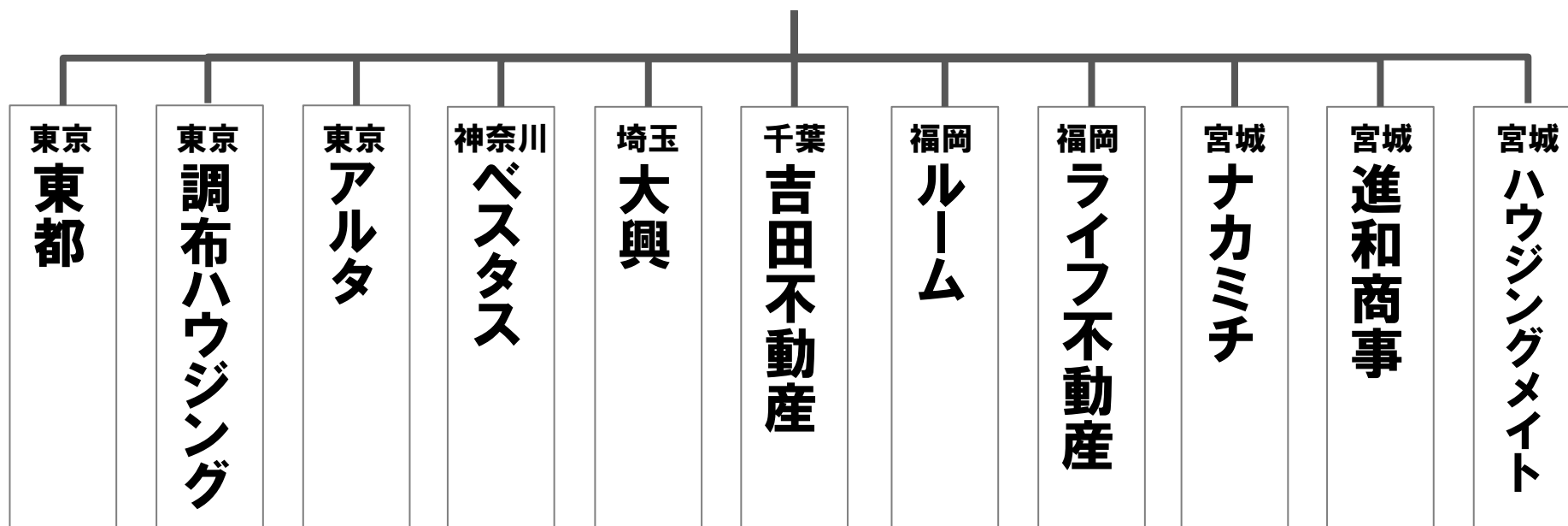
★ 18/3期 グループイン入り会社



**ライフ不動産 (福岡)**

**中小規模の企業を中心に  
グループ化**

# 賃貸管理事業



成功事例の共有し利益拡大を狙う

# 賃貸管理事業



東都



ベストাস



ルーム



大興



# 国内事業

国内  
リロケー  
ション  
事業

借上社宅管理事業



賃貸管理事業

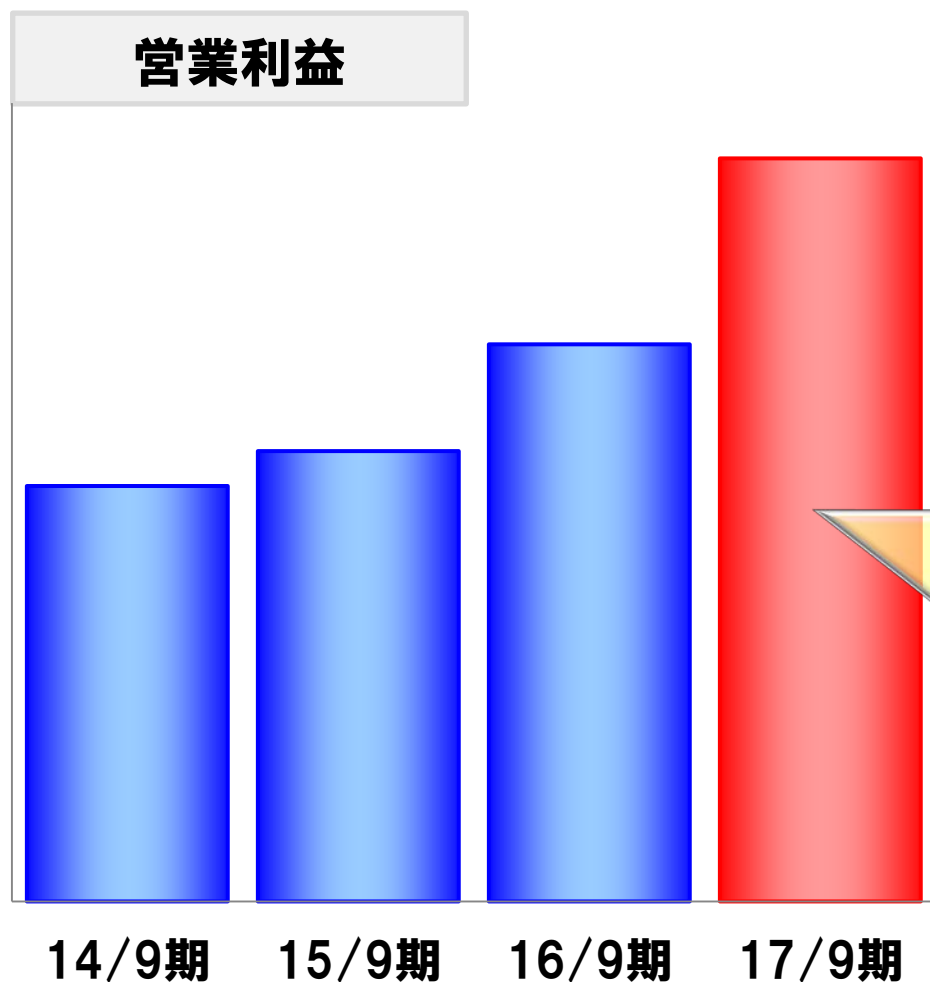


福利厚生  
事業

福利厚生事業



# 福利厚生事業



## 売上高

102億75百万円

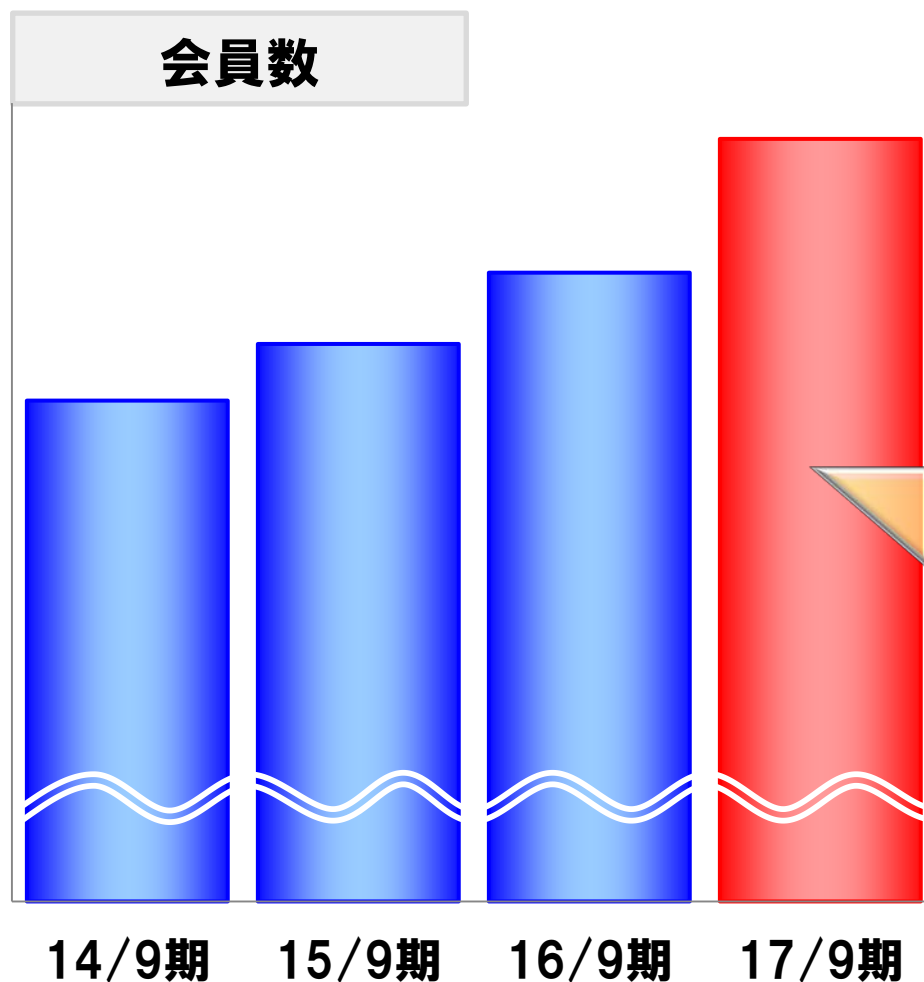
前期比 **20.7%増**

## 営業利益

32億57百万円

前期比 **33.4%増**

# 福利厚生事業



## 新規獲得が好調

福利厚生代行

会員数 **582** 万人

前年同期末比 **67** 万人増

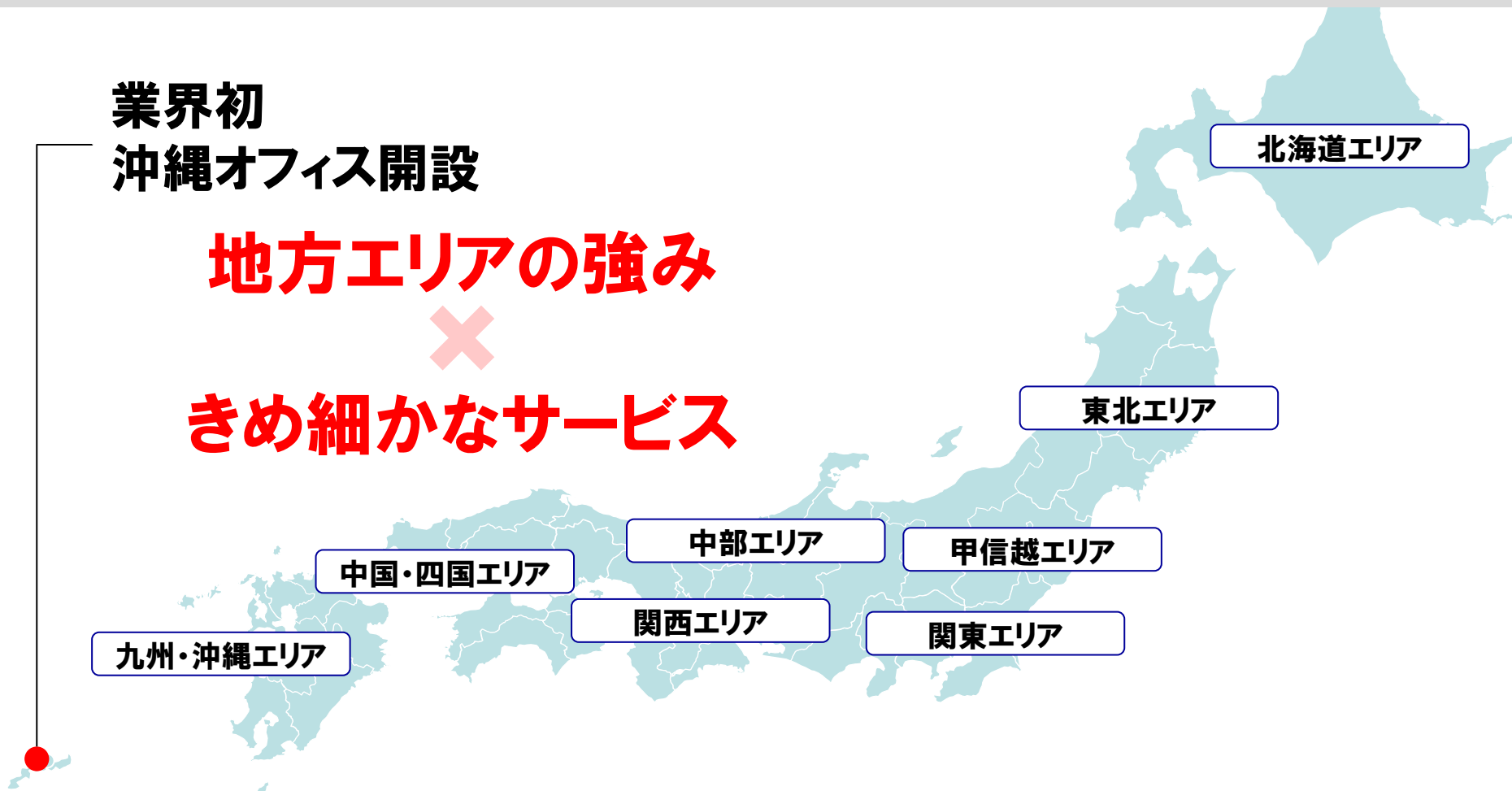
# 福利厚生事業

業界初  
沖縄オフィス開設

地方エリアの強み



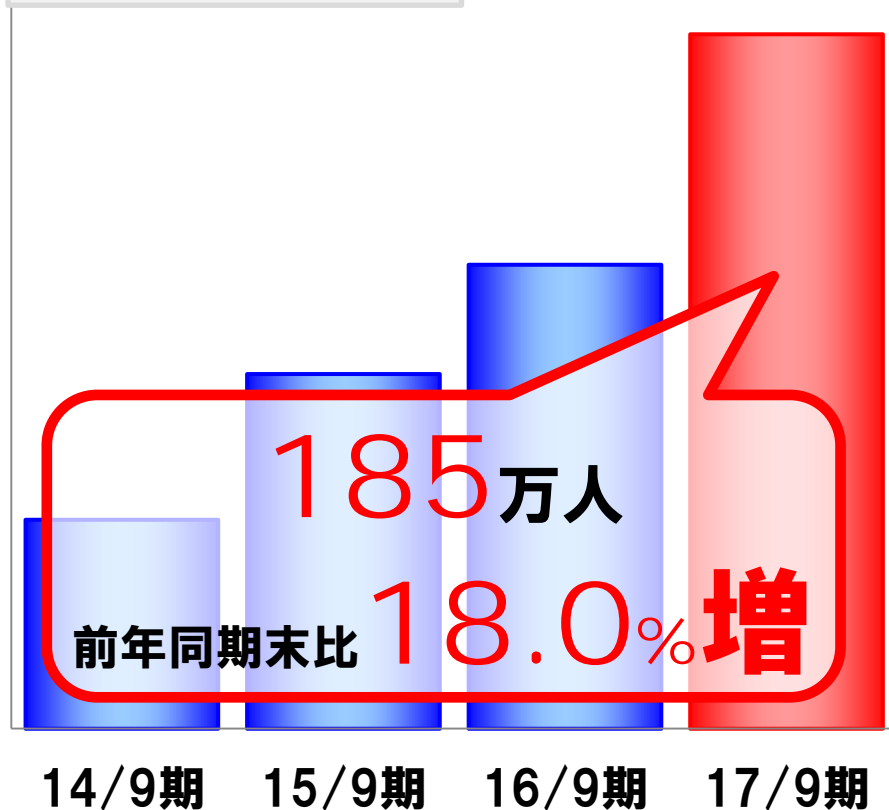
きめ細かなサービス



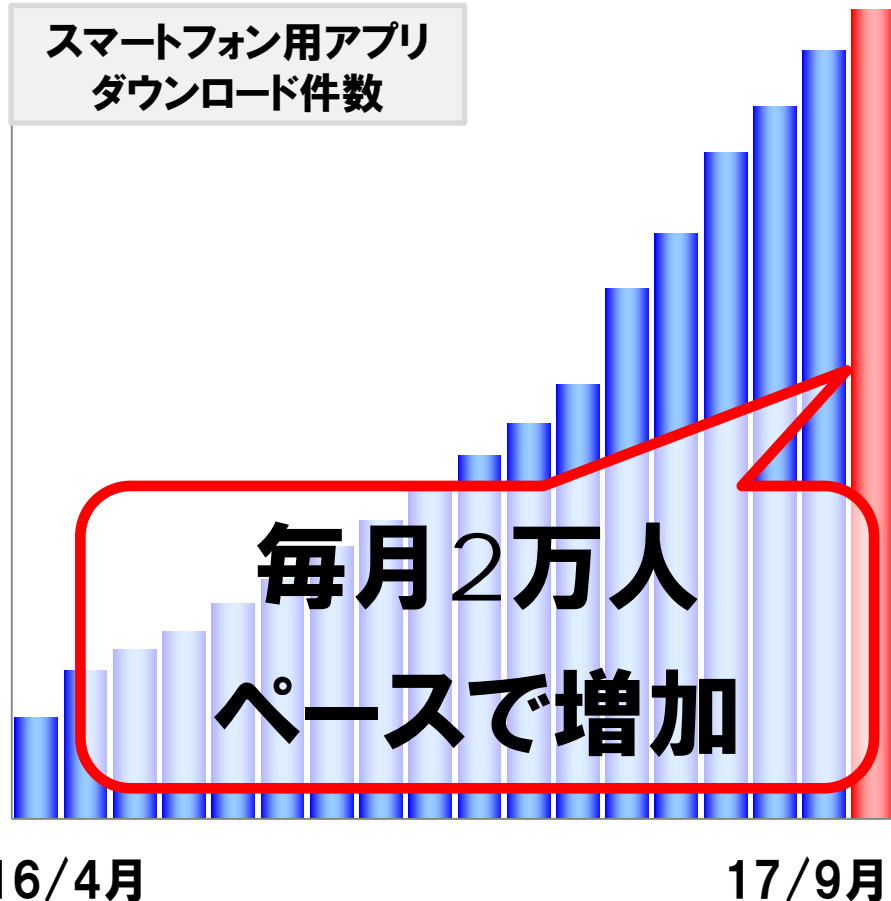
大・中小、地方企業に万遍なく営業が進捗

# 福利厚生事業

メルマガ購読者数



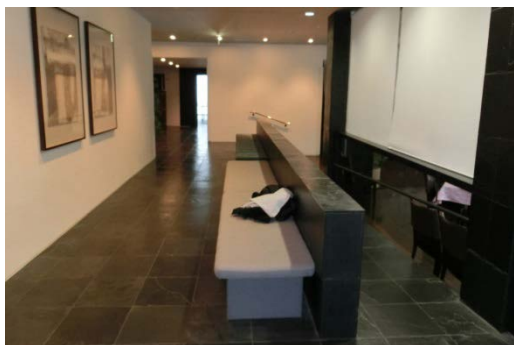
スマートフォン用アプリ  
ダウンロード件数



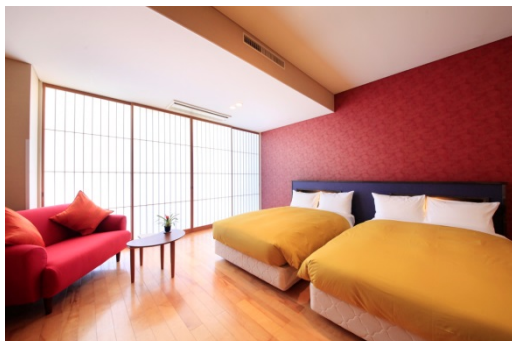
利用関連指標 順調に推移

# ホテル運営

## 購入当初



## 再生後



ノウハウを活かした  
ホテル運営を展開

安定的に  
収益へ貢献

# 国内事業 2018年3月期計画

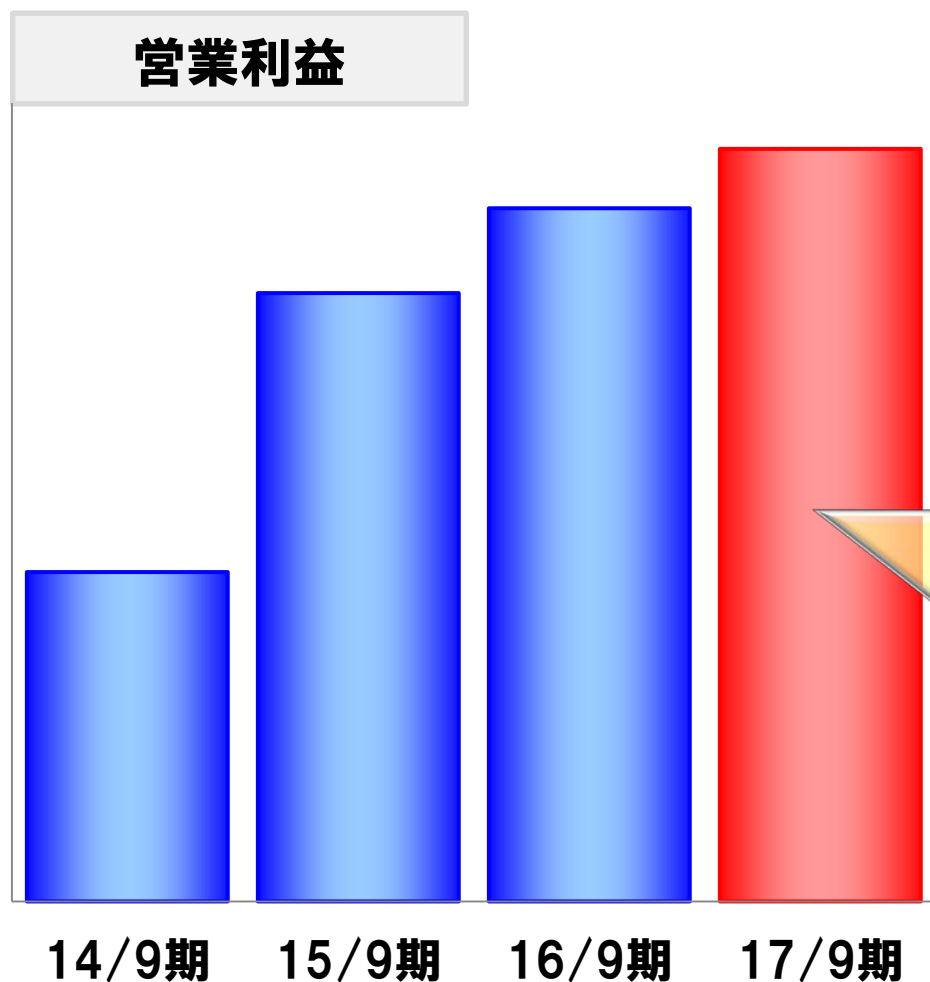


セグメント別業績

海外セグメント

海外セグメント

# 海外事業



## 売上高

177億45百万円

前期比 6.3%増

## 営業利益

15億08百万円

前期比 8.5%増

トランプ政権発足  
BREXIT決定



**影響は一時的**

**縮小する国内市場**



**海外に市場を求めるトレンド継続**

# 海外赴任支援事業

## 海外赴任完了数



2017年9月

3,754世帯

前年同期比 4.3%増

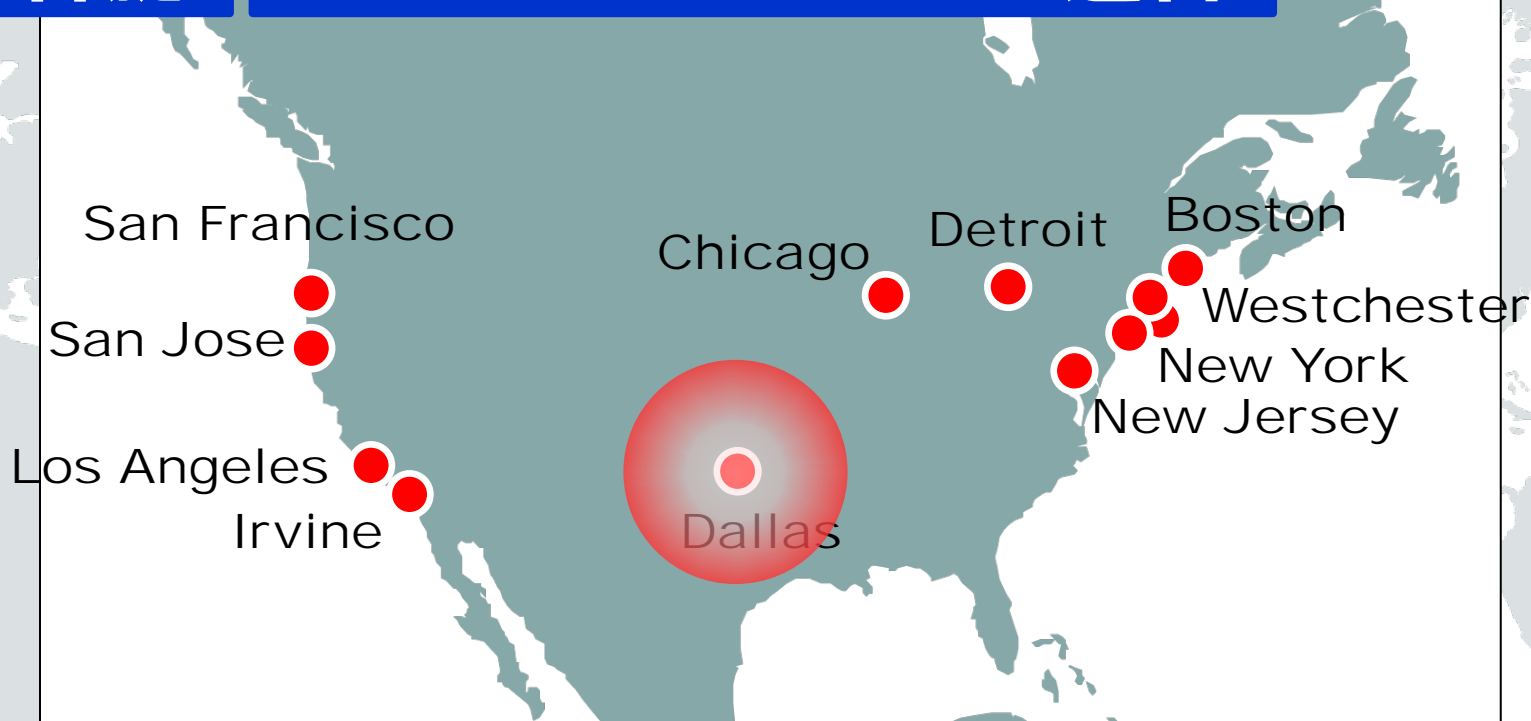
# 海外現地事業

北米を中心とした海外現地の

住宅斡旋

サービスアパートメント運営

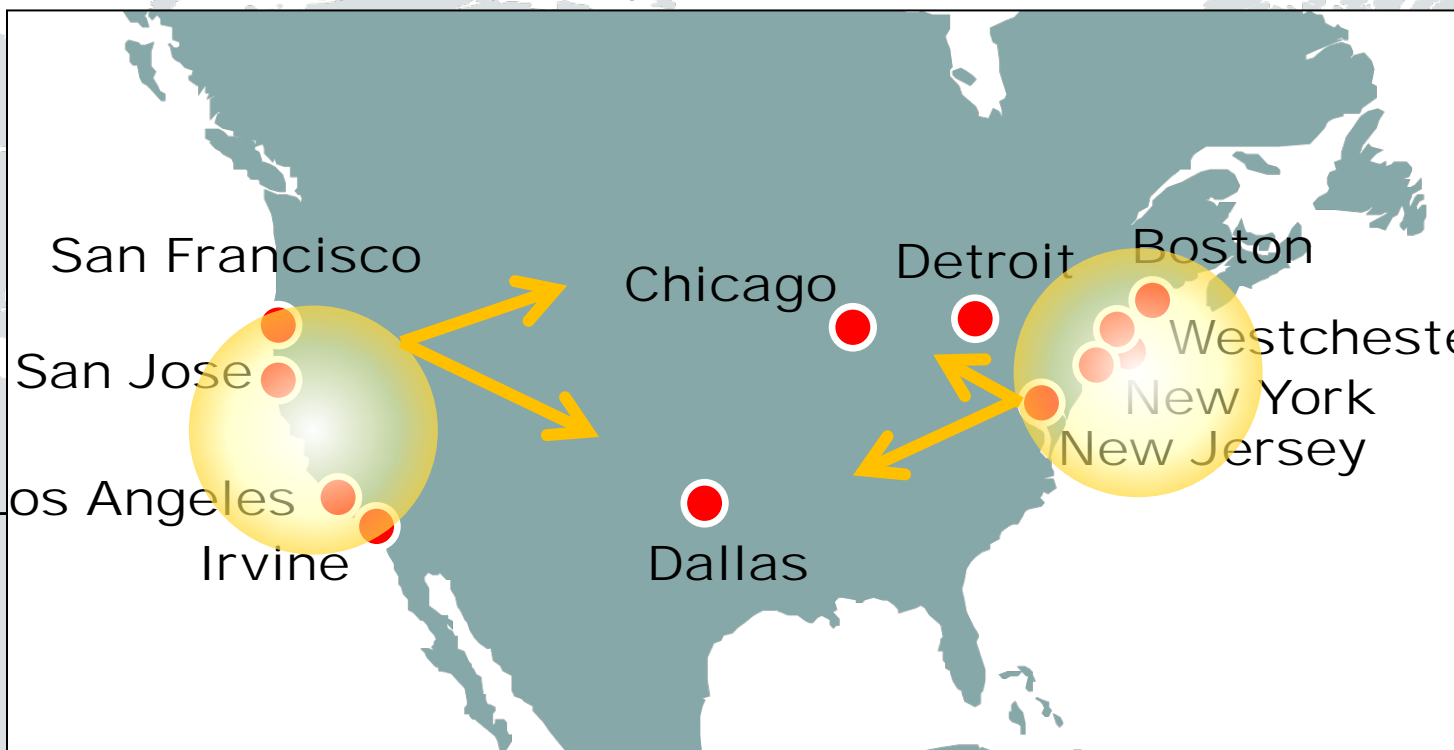
を中心に伸長



ダラスエリアの賃貸仲介が前期比倍増

# 海外現地事業

## 都市部から中西部・南部へ赴任者が分散する傾向



米国拠点が最も多い当社が選ばれる可能性高まる

2018年3月期から

**モビリティ・マネジメント・サービス 販売開始**

**赴任者向け保険(住宅/自動車関連) 販売強化**

**更なる赴任者の囲い込みを狙う**

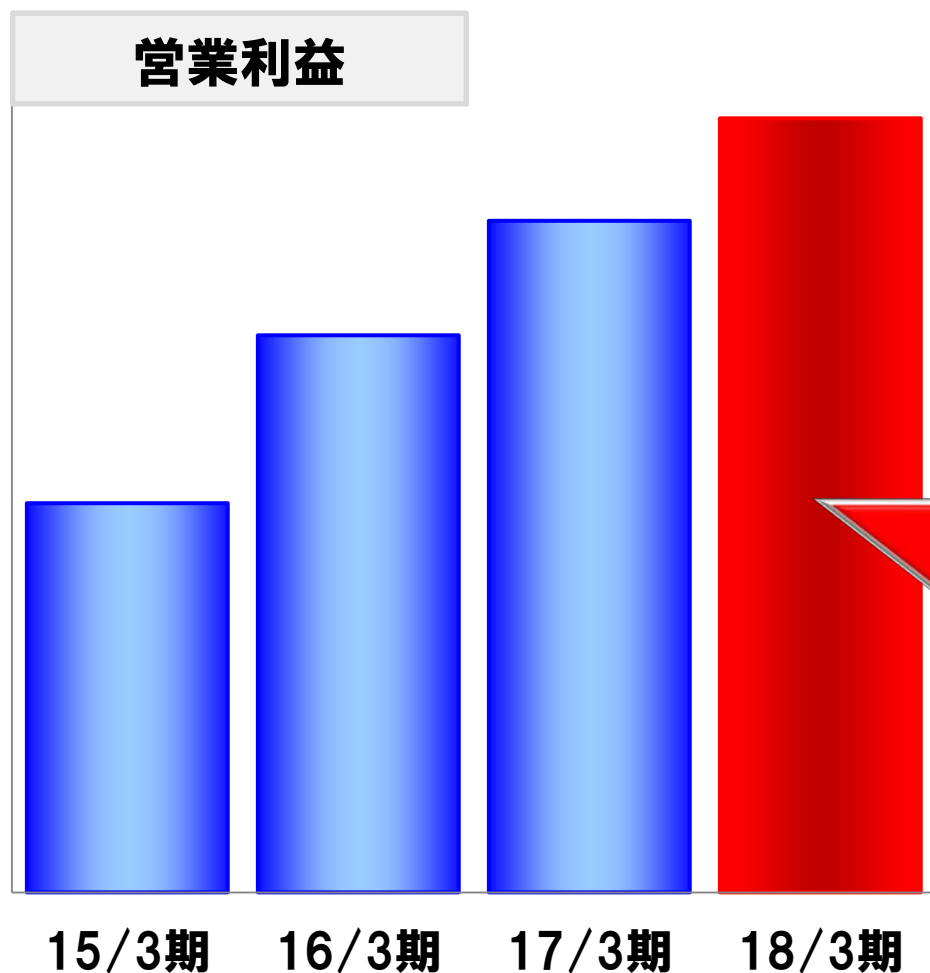
住宅斡旋件数

1,112 件

サービスアパートメントホテル

稼働率 85.7%

# 海外事業 2018年3月期計画



## 売上高

370億円

前期比 9.9%増

## 営業利益

29億円

前期比 15.3%増

# 2018年3月期 計画

2018年3月期 計画

(百万円未満切捨)

17/3期  
実績

18/3期  
計画

前期比

売上高

205,117

226,000

+10.2%

営業利益

13,264

15,500

+16.9%

経常利益

14,239

16,500

+15.9%

当期純利益

9,151

10,500

+14.7%

EPS(円)

61.62

70.50

+14.4%

1株当たり  
年間配当金(円)

18.4

21

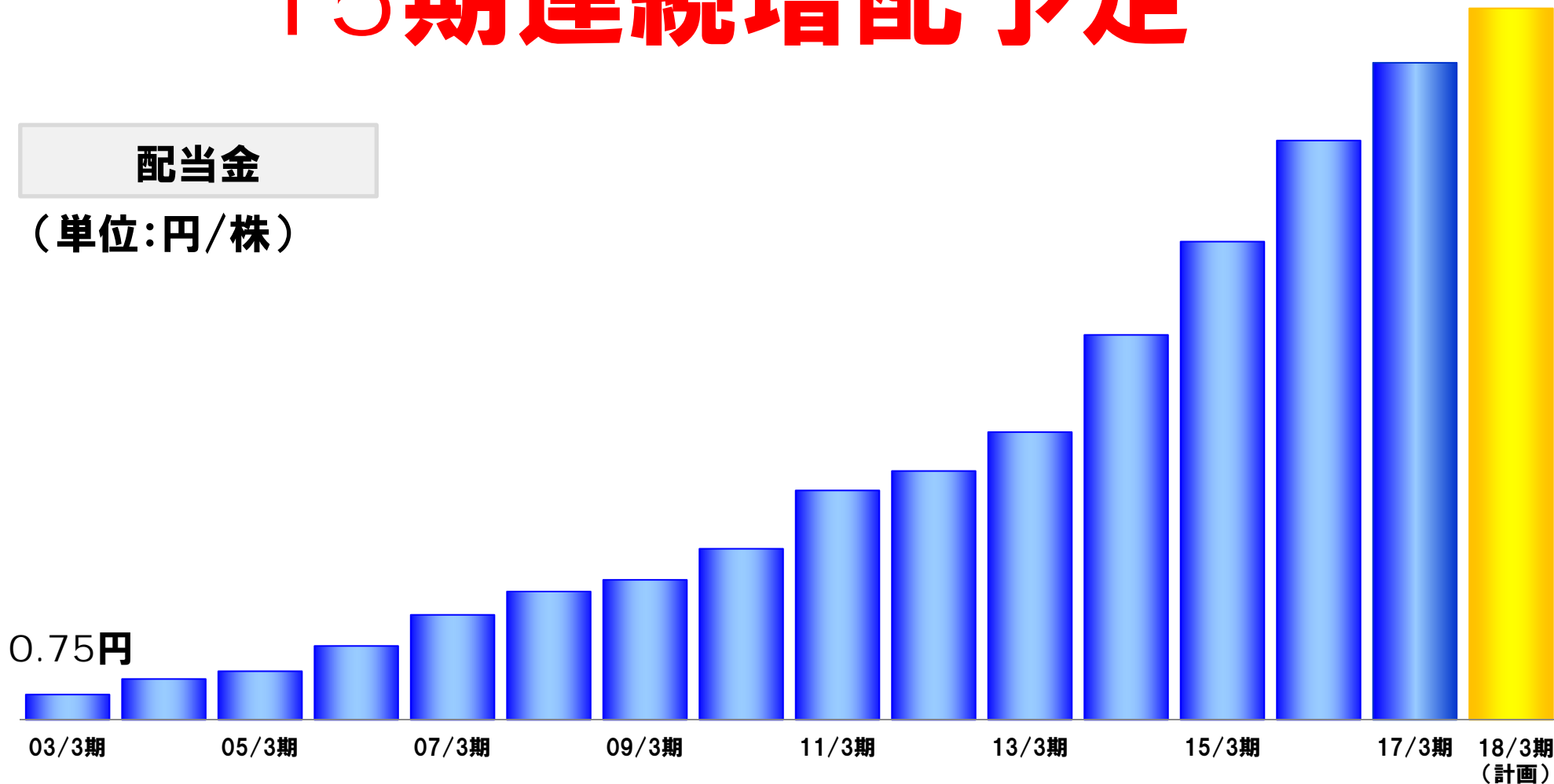
+2.6円

## 15期連続増配予定

21円

配当金

(単位:円/株)



# 株式分割

## 2017年4月1日付 10分割実施

株主数

2017年3月末時点

4,579名

1.5倍

2017年9月末時点

6,442名

投資単価の適正な水準、株式の流動性に留意しつつ運営してまいります

# 2018年3月期 第2四半期末 連結BS

## 資産の部

	17/03期	17/09期	増減
<b>流動資産合計</b>	<b>56,580</b>	<b>54,075</b>	<b>▲ 2,504</b>
現金及び預金	13,309	12,886	▲ 422
受取手形及び売掛金	12,094	9,791	▲ 2,303
販売用不動産	6,729	7,978	+1,249
貯蔵品	501	533	+31
前渡金	13,291	13,450	+159
その他	10,693	9,476	▲ 1,217
貸倒引当金	▲ 40	▲ 42	▲ 1
<b>固定資産合計</b>	<b>42,754</b>	<b>47,062</b>	<b>+4,307</b>
有形固定資産合計	7,486	8,522	+1,036
建物(純額)	4,246	4,904	+659
建物	6,749	7,557	+808
減価償却累計額	▲ 2,503	▲ 2,652	▲ 149
工具、器具及び備品(純額)	482	448	▲ 34
工具、器具及び備品	1,794	1,843	+49
減価償却累計額	▲ 1,312	▲ 1,395	▲ 83
土地	2,340	2,475	+136
その他(純額)	417	693	+276
無形固定資産合計	10,524	11,111	+587
ソフトウェア	1,485	1,920	+436
のれん	8,862	9,002	+140
その他	176	188	+12
投資その他の資産合計	24,744	27,427	+2,683
投資有価証券	10,585	13,144	+2,559
敷金及び保証金	11,627	11,534	▲ 93
その他	2,603	2,821	+218
貸倒引当金	▲ 72	▲ 72	+0
<b>繰延資産合計</b>	<b>12</b>	<b>13</b>	<b>+1</b>
社債発行費	12	10	▲ 2
<b>資産合計</b>	<b>99,347</b>	<b>101,151</b>	<b>+1,804</b>

## 負債・純資産の部

	17/03期	17/09期	増減
<b>流動負債合計</b>	<b>45,720</b>	<b>44,307</b>	<b>▲ 1,413</b>
買掛金	3,425	2,709	▲ 716
短期借入金	12,663	10,145	▲ 2,518
1年内返済予定の長期借入金	1,695	1,729	+33
未払法人税等	2,490	2,272	▲ 218
前受金	16,067	16,892	+825
賞与引当金	761	534	▲ 226
その他	8,616	10,024	+1,407
<b>固定負債合計</b>	<b>13,883</b>	<b>14,524</b>	<b>+641</b>
社債	1,800	1,500	▲ 300
長期借入金	5,440	6,240	+800
長期預り敷金	5,867	5,944	+77
債務保証損失引当金	60	-	+0
退職給付に係る負債	326	332	+5
負ののれん	2	1	+0
その他	386	506	+119
<b>負債合計</b>	<b>59,604</b>	<b>58,831</b>	<b>▲ 773</b>
<b>純資産合計</b>	<b>39,742</b>	<b>42,319</b>	<b>+2,577</b>
株主資本合計	38,634	40,966	+2,331
資本金	2,667	2,667	+0
資本剰余金	2,871	2,871	+0
利益剰余金	36,342	38,626	+2,284
自己株式	▲ 3,246	▲ 3,199	+47
その他の包括利益累計額合計	677	894	+217
その他有価証券評価差額金	459	702	+243
為替換算調整勘定	222	193	▲ 30
退職給付に係る調整累計額	▲ 4	▲ 1	+4
新株予約権	39	39	+0
非支配株主持分	390	419	+29
<b>負債純資産合計</b>	<b>99,347</b>	<b>101,151</b>	<b>+1,804</b>

# 2018年3月期 第2四半期末 連結CF

## 連結キャッシュ・フロー

	16/09期	17/09期	増減
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>1,446</b>	<b>7,015</b>	<b>+5,569</b>
税金等調整前当期(四半期)純利益	6,165	7,666	+1,501
減価償却費	431	556	+125
のれん償却額	281	337	+56
持分法による投資損益(△は益)	▲ 302	▲ 409	▲ 107
売上債権の増減額(△は増加)	4,025	2,335	▲ 1,690
棚卸資産の増減額(△は増加)	▲ 1,202	▲ 1,263	▲ 61
仕入債務の増減額	▲ 1,522	▲ 730	+792
未払金の増減額(△は減少)	▲ 2,900	▲ 18	+2,882
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	▲ 127	104	+231
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	▲ 36	66	+102
利息及び配当金の受取額	197	214	+17
法人税等の支払額	▲ 1,902	▲ 635	+1,267
その他	▲ 1,662	▲ 1,208	+454
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>▲ 3,558</b>	<b>▲ 2,571</b>	<b>+987</b>
有形固定資産の取得による支出	▲ 1,149	▲ 1,368	▲ 219
有形固定資産の売却による収入	41	1	▲ 40
ソフトウェアの取得による支出	▲ 207	▲ 636	▲ 429
投資有価証券の売却による収入	25	14	▲ 11
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	▲ 2,351	▲ 346	+2,005
その他	83	▲ 236	▲ 319
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>7,118</b>	<b>▲ 4,898</b>	<b>▲ 12,016</b>
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,674	▲ 2,549	▲ 9,223
長期借入による収入	0	1,500	+1,500
長期借入金の返済による支出	▲ 761	▲ 715	+46
社債の償還による支出	▲ 300	▲ 300	+0
自己株式の処分による収入	3,788	20	▲ 3,768
配当金の支払額	▲ 2,235	▲ 2,757	▲ 522
その他	▲ 48	▲ 97	▲ 49
<b>現金及び現金同等物期末(四半期末)残高</b>	<b>17,684</b>	<b>12,886</b>	<b>▲ 4,798</b>

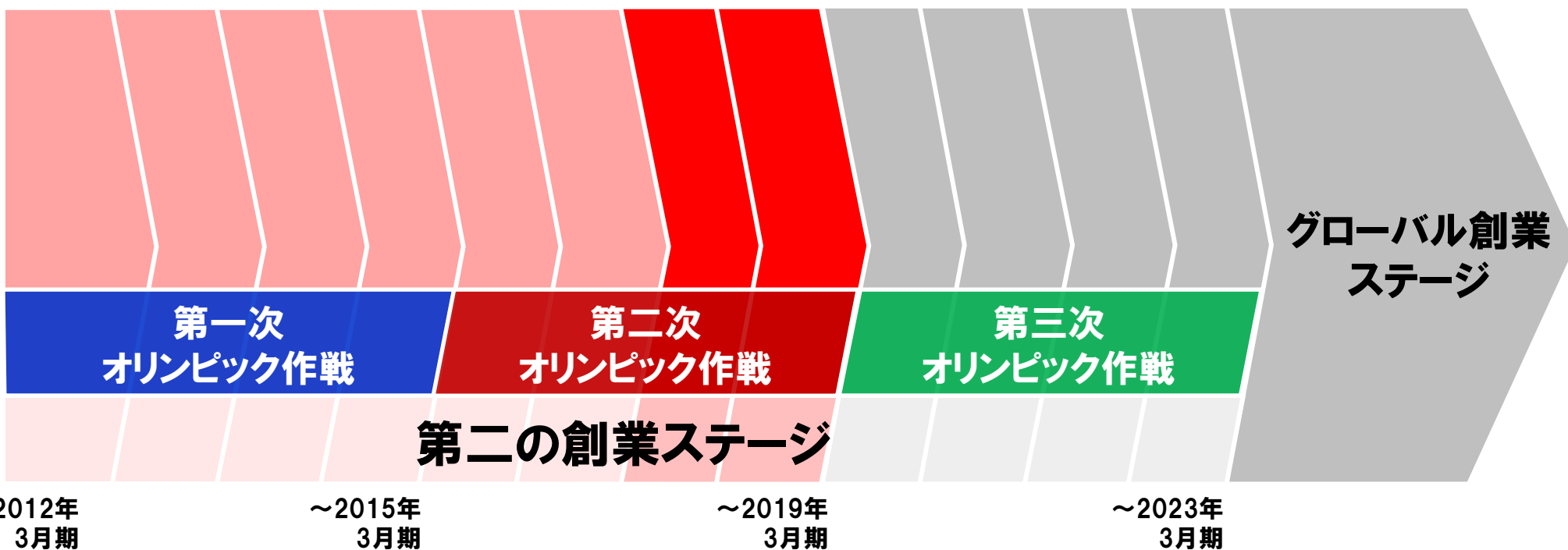
2018年3月期 第2四半期

ワログループ  
決算説明会

2017年11月21日

# 第二の創業

## 第二次オリンピック作戦 あと1年半



# 第二次オリンピック作戦

**利益規模 or 市場シェアNo. 1**

**国内の経営基盤強化**

**時価総額の向上**

## 第二の創業

# AIRINCをグループ化した効果

グローバル・リロケーションカンパニー  
の情報収集

世界における福利厚生市場の  
リサーチ開始

## 第二の創業

# 第三次オリンピック作戦

グローバル市場へリーチするための  
土台を作る



世界のリロケーションカンパニー  
No. 1への挑戦開始

# 第二次オリンピック作戦 進捗

2019年3月期 目標

経常利益 200億円



**順調に進捗**

## マイナス要素

賃貸管理における  
M&Aの不確定要素

海外事業の  
ややビハインド

**カバー  
可能**

## プラス要素

福利厚生代行  
サービスの好調

ホテル運営の伸長

# 市場環境

## <企業の課題>

人口減少に起因するパート・アルバイトの正社員化

社員確保の為の体制整備



社宅・福利厚生制度の見直し

対象範囲の拡大

新たな制度導入

現導入プランのアップグレード

## 社宅・福利厚生制度の見直し

対象範囲の拡大

新たな制度導入

現導入プランのアップグレード

中堅・中小企業

地方企業



新たに社宅制度を創設  
福利厚生を新規導入

# 市場環境

## <企業の課題>

人口減少に起因するパート・アルバイトの正社員化

社員確保の為の体制整備

+

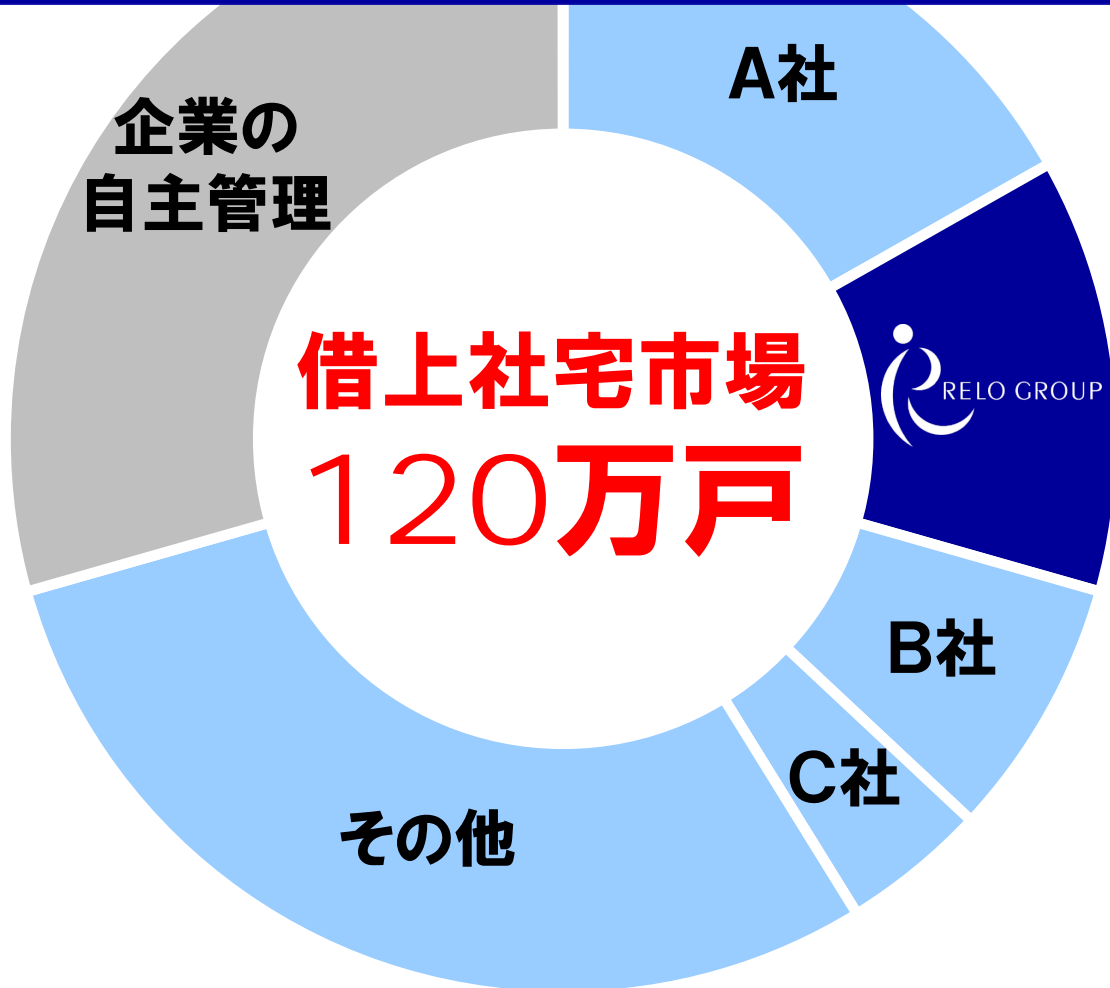
人手不足による生産性向上

本業ではない業務のアウトソーシング化が進行

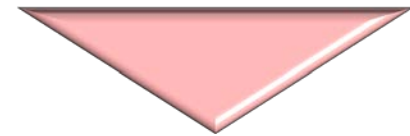
**社宅管理・福利厚生市場は拡大傾向**

# 借上社宅管理事業

市場制覇に向けた本格的な準備をスタート



「第3次OP作戦」



市場制覇に向けた  
最後の決戦ステージ

# 借上社宅管理事業

市場制覇に向けた本格的な準備をスタート

第2次  
OP作戦

大規模なシステム  
開発を優先

一時的に利益率低下

システム効果発揮

ユーザビリティ向上  
利益率向上

第3次  
OP作戦

競合他社の  
事業撤退

+ 転貸で  
圧倒的強み  
を發揮

利益規模×市場シェア  
ダントツNo. 1

# 賃貸管理事業

当初目標

経常利益 47億円 ▶ M&Aの遅れ

大型M&A案件の競争激化

ターゲットを中小規模の賃貸管理会社に変更

## マイナス要因

---

M&A投資額

当初計画 **400億円** ▶ 現状 約**50億円**

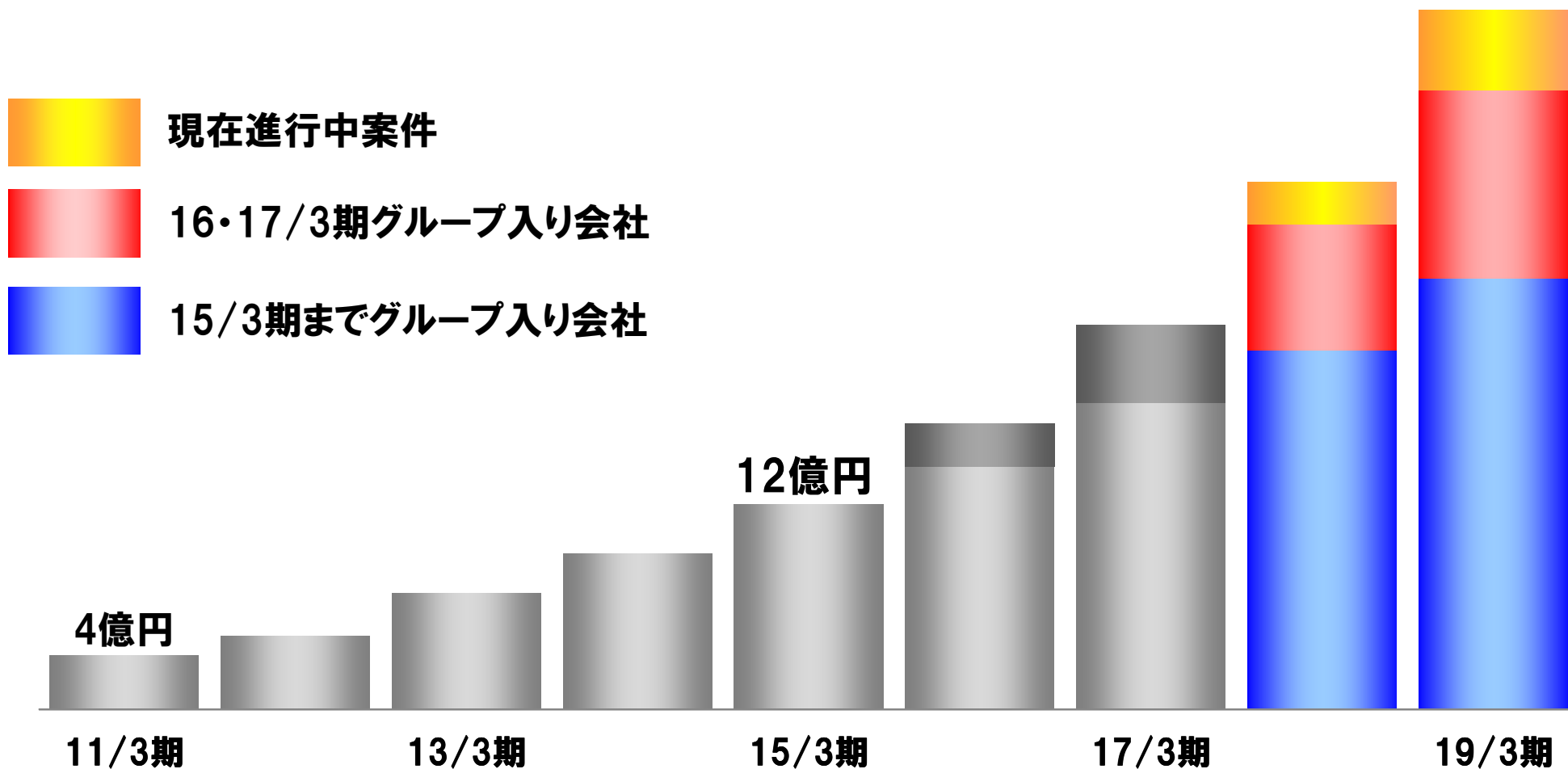
## プラス要因

---

既存会社の  
年平均成長率

▶ **想定以上で推移**

経常利益47億円  
達成ライン



# 福利厚生事業

当初目標

経常利益 68億円 ▶ 大幅超過見込

地方の中堅・中小企業の  
人手不足が深刻化

きめ細かいサービスで会員数伸長

# 福利厚生事業

地方に拠点をもつ大企業の  
獲得にも貢献



# 福利厚生事業

継続的なシステム投資



ユーザビリティ向上



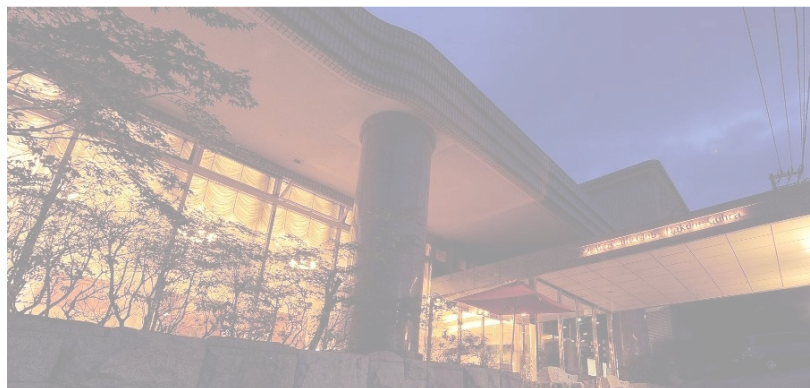
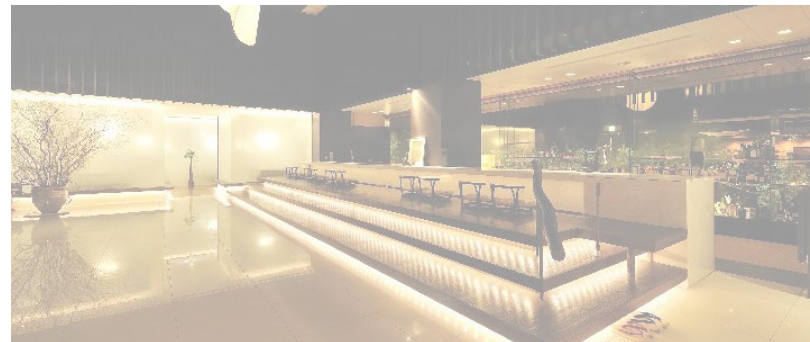
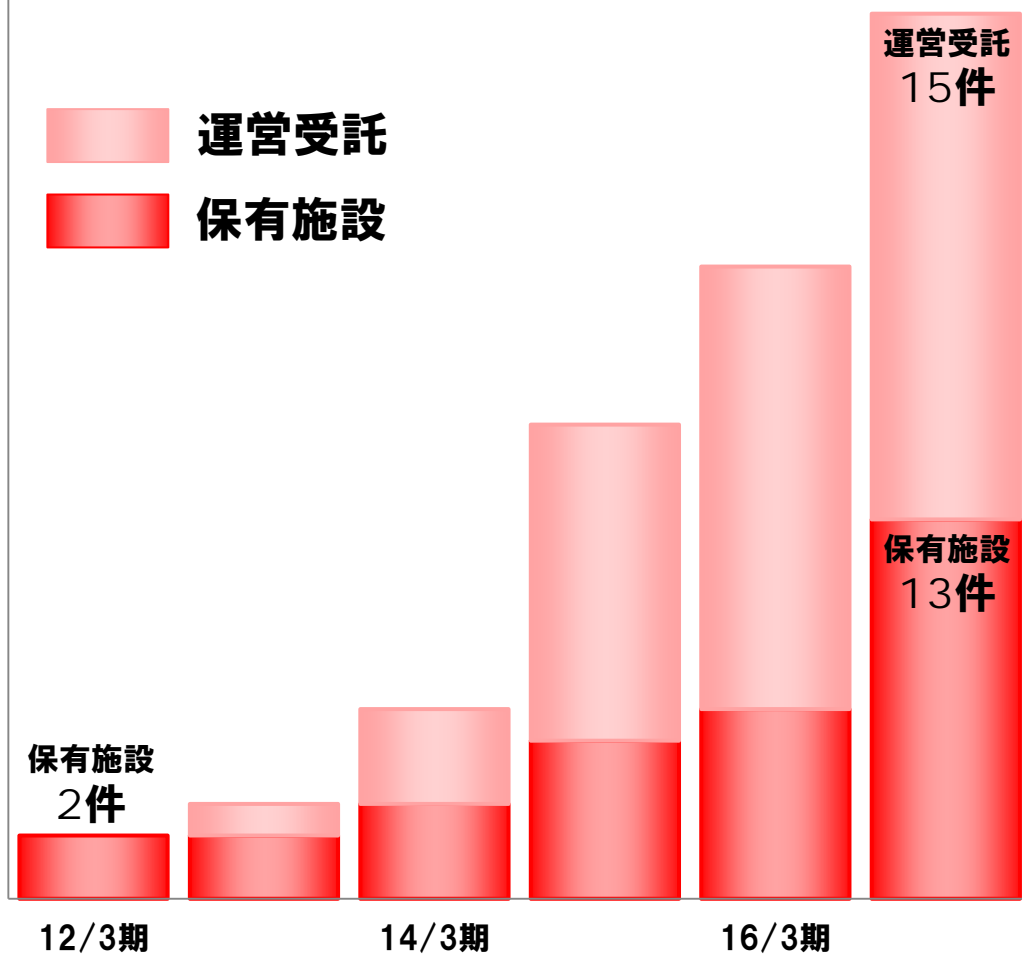
宿泊利用者が増

**横展開**

施設からのコミッションが伸長

# ホテル運営

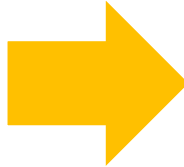
## 運営ホテル数



# ホテル運営

企業

福利厚生  
代行サービス導入



リログループ

保養所買取

宿泊施設として再生

研修所として活用

タイムシェア事業  
への活用

# リゾート事業(タイムシェア事業)

当初目標  
経常利益 5億円 ▶ プラス貢献見込

## 新規販売好調

ホテル運営との連携

施設数の増加

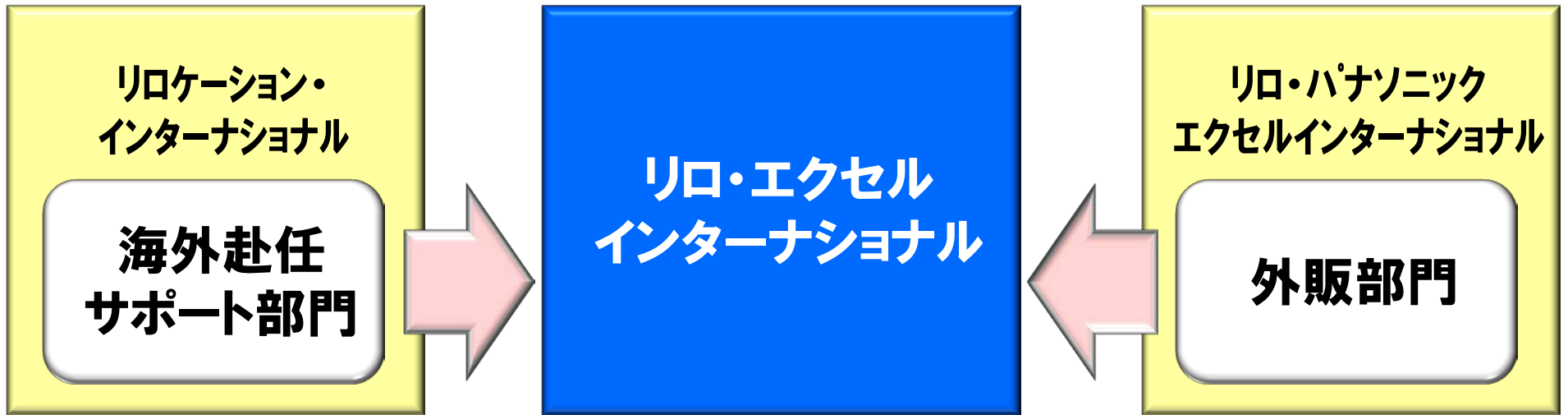
# 海外事業

当初目標  
経常利益 40億円 ▶ ややビハインド



# 海外赴任支援事業

## 新会社設立



使命・ビジョンの共有

持株会制度への参加

人事交流

メニューの整理・統合

クロスセルの高いポテンシャル

# 海外赴任支援事業

リログループ

単品サービスの提供

AIRINCとの連携

リーチ開始

大手企業

赴任業務を  
内製

大手企業へのアプローチ数増加

※合同セミナーの様子





**リロ・リダックモデルの  
横展開を進行**

## JAC Strattons Limited.

- ・英国での日本人向け住宅斡旋件数 第2位
- ・新規・更新契約数 1,000件／年間



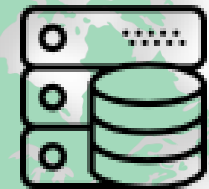
# 海外現地事業



人事・総務  
担当者

一括  
業務委託

業務報告  
一括請求



赴任者の全体  
進捗管理  
データベース



住宅探し・  
契約手続き



24時間  
電話通訳



家具  
レンタル



テナント保険  
自動車保険



カーリース  
・購入



携帯電話

当初目標

経常利益 40億円 ▶ 挽回を図る

- 海外赴任支援事業の統合
- 海外新規エリアへの展開
- 新サービスによる業容拡大

# 使命・ビジョン

## - リロググループの使命 -

世の中の働く人々が、後顧の憂い無く安心して  
本来のパワーを発揮できるようサポートする

## - リロググループのビジョン -

世界のリロケーションカンパニーNo. 1

# 第3次OP作戦のテーマ

**国内主力事業ダントツNo. 1**

**世界展開に向けた基盤づくり**

**今期から準備を開始**

---

# お問い合わせ

## ご連絡先

(株)リログループ 企画IRグループ

TEL: 03-5312-8704

E-Mail: [ir@relo.jp](mailto:ir@relo.jp)

URL : <http://www.relo.jp/>

**本資料は、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。**

**また、本資料は2017年9月現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。**